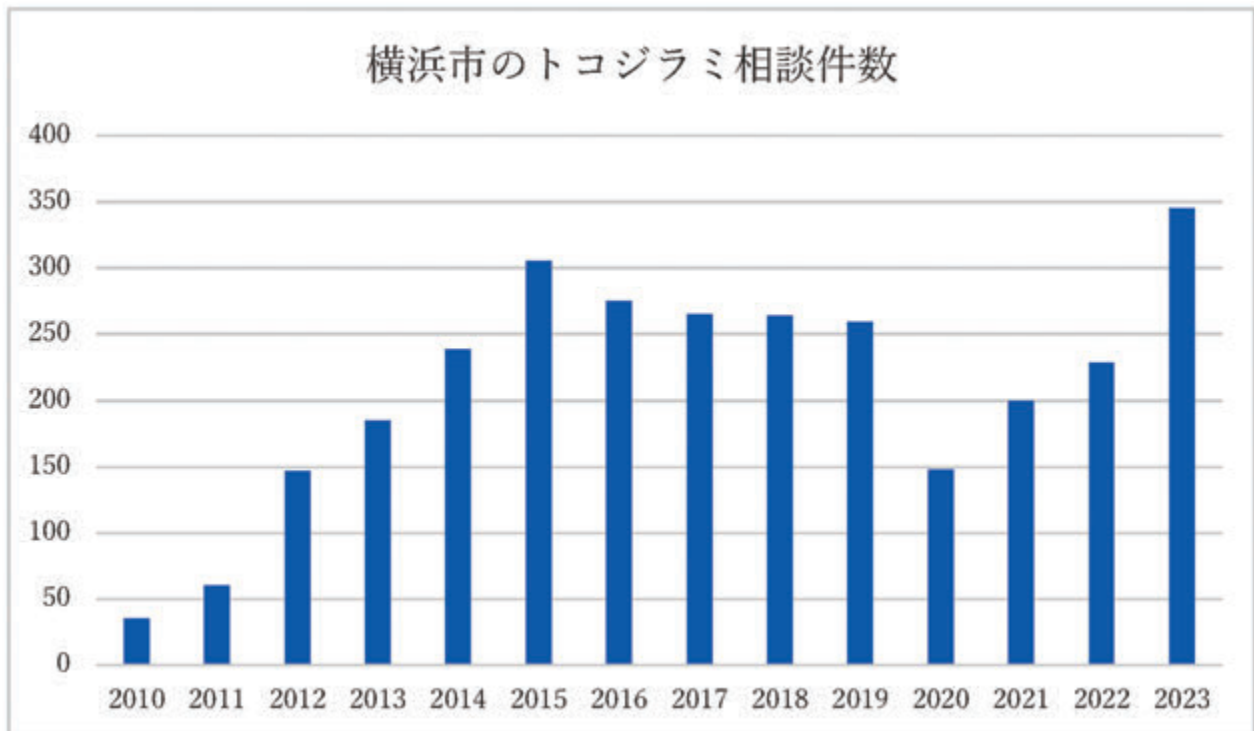


トコジラミ蔓延中

ブラザー興業 株式会社 原 島 光 央

◆トコジラミの駆除依頼が増えている。

10年ほど前にも依頼が増えたが、新型コロナウイルスが終息したこの1、2年もまた依頼が増えたと実感する。



2011年頃からインバウンドの増加によりトコジラミ被害が急増し、2020年の新型コロナウイルスの流行による社会の自粛で急減少し、コロナ禍の終息した2022年から再び増加している。トコジラミの被害拡大は人の移動と密接にかかわっていることが一目瞭然である。

実際にトコジラミ駆除現場で感じることもある。

10年前は「海外旅行に行った」「ネットカフェなど不特定多数が集まる場所に行った」など、普段行かない場所に訪れた心当たりがある依頼者が多かった。

しかしこの1、2年は、日常生活を続けてただけで「旅行にも行っていない」「なぜトコジラミが家にいるのか見当もつかない」という依頼者が増えた。

つまり、日常生活範囲にトコジラミが生息しているということである。

具体的には公共交通機関や飲食店が考えられるが、そうなるともはや運が悪かったとしか言えない。

旅先のホテルで荷物を床に置かず、浴室に置いたほうが良いなどとテレビのトコジラミ特集で予防法を紹介していたが、通勤通学などで運悪くトコジラミを家に持ち帰ってしまうという防ぎようがない被害が増加するだろう。

◆一般住宅の2つのパターン

最近のトコジラミ駆除現場は、2つの極端に異なる環境が増えた。

1つは先ほど述べた現状から、運悪くトコジラミを持ち帰ってしまった家である。

このような家は日常の清掃もしており、室内は清潔に保たれている。

体を刺され、トコジラミの実物を発見してパニックになる人も多く、壁などに血糞が溜まる前に駆除依頼をする。そのため生息数も少なく、ベッドや周辺も入念に調べなければトコジラミを発見できない。

もう一方は逆に何年もトコジラミが繁殖し続け、部屋のいたるところに血糞があり生息数も非常に多い家である。このような家にありがちなことは、とにかく室内に荷物が多く、整理整頓がされていないことである。付け加えると、「使っていないもの」が多い。

押し入れにも使っていないものが押し込められ、タンスやクローゼットにも何年も着ていない服が山積みされている。

トコジラミは部屋の清潔・不潔は繁殖に影響しない。トコジラミの餌は血液のみであるため、どんなに部屋を清潔にしても人がいる限り繁殖していく。

それでも整理整頓はトコジラミの営巣場所を減らし、駆除作業を容易にさせることができる。

本当は廃棄処分したいのに重い腰を上げられなかった依頼者がほとんどであるため、トコジラミ駆除と併せて廃品回収の見積もり提案ができると良い。

もちろん廃棄処分の際にトコジラミを世の中にまき散らすことがないように、しっかりと駆除作業をすることが前提である。

◆駆除作業での最近の失敗？例

失敗といえるのか微妙ではあるが、先ほど述べたトコジラミの生息は少なく、きれいな家での駆除作業で学んだことがある。

2LDKの高級マンションの寝室でトコジラミ被害が発生し、駆除作業を行った。

もう絶対に刺されたくないという依頼者の要望もあり、薬剤散布1回で根絶できるよう気合を入れて現場に向かった。

最近ゴキブリ駆除で大活躍のプロフラニリド(メタジアミド系)がトコジラミに対しても有効で臭いもなく、残留効果も高いということで、ベッドを中心に室内全域丁寧に散布処理を行った。

もともと生息数も少なく、駆除作業中もトコジラミの生息は確認されなかったため、自信をもって終わらせることができた。

ところが1か月後、ベッドでトコジラミの成虫を見つけたと連絡があった。プロフラニリドは高い残留効果があるはずなのに1か月後に元気な成虫がいることに少々驚いた。メタジアミド系はトコジラミにはあまり効かないのであろうか？

しかし依頼者から話を聞くと、駆除作業の翌日から1か月間、実家に帰っていたというのである。

ここで重要なことは、残留効果のある薬剤はトコジラミに徘徊してもらって体に薬剤成分を付着させなければ効果がないということだ。

我々が駆除作業する前に、依頼者が市販の燻煙剤などを使用していた場合は注意が必要である。

燻煙剤により部屋の奥隅に逃げ込んだトコジラミは、吸血対象の人間がいなければそこから動か

ず、じっと潜んでいることがある。そして人間が帰ってきた時に飢餓状態のトコジラミが待ってましたとばかりに吸血しにくるのである。

トコジラミの特徴が、今回のように少ない生息にもかかわらず駆除しきれず、アフター作業になってしまった要因である。

- ① トコジラミは毎日吸血するのではなく、1回吸血したら次は1週間後の場合もある
(巣に戻る)
- ② ピレスロイド系燻煙剤は効かない
(部屋の奥隅に逃げ込む)
- ③ 飢餓に強く、1か月以上吸血しなくても生存できる
(実家に帰っている間も生存している)

残留効果の薬剤で駆除する場合は、人が囿として在室している必要があることを理解してもらわなければならない。